

## 1 森林とのふれあいを目指した取組

### (1) 森林ふれあい推進事業

「国民の森林」として、森林での環境教育活動や体験活動など国民の福祉の増進等に寄与する活動として、森林への関心・理解を高めることを目的に「森林ふれあい推進事業」を実施しています。箕面国有林をフィールドとして事業を実施していただける団体を募集し、協定を締結して箕面森林ふれあい推進センターとの共催による事業を行いました。

#### ① カブトムシ里親まつり（協定相手方：特定非営利活動法人 NPO クワガタ探検隊）

カブトムシの飼育を通じて命の尊さを学ぶイベントとして、「カブトムシ里親まつり」を令和元年度から実施しています。参加したご家族が、箕面市生まれのカブトムシ（成虫ペア）を持ち帰り、それぞれのご家庭で飼育していただくとともに、その成虫が産卵すれば箕面国有林に放虫するという取り組みです。令和7年度は猛暑の影響によりカブトムシが少ないため飼育編は中止となりました。ですが、NPO クワガタ探検隊の講師の方が用意してくださった幼虫を用いて10月19日に放虫編、さらに12月14日に植樹編を開催し、合わせて9家族35名の皆さんに参加いただきました。参加者には2回とも参加したご家族や、参加者の方からのお誘いで一緒に参加されたご家族もいらっしゃいました。

放虫編では昆虫ベッドの整備も行いました。昆虫ベッドとは、カブトムシの幼虫の生息場所となるように腐葉土を敷き詰めた空間で、イベントにご参加いただいた皆さんと一緒に、生育環境改善のため土の入れ替えを実施しました。

また、植樹編では、カブトムシが好む樹液場を増やすクヌギの植樹を実施しました。



【写真 30 カブトムシとのふれあい】



【写真 31 植樹の様子】

② 森のセラピー体験（協定相手方：NPO 法人みのお山麓保全委員会）

箕面の森林に親しみ、自然のセラピー効果を実感していただくことを目的に、「みのお森のセラピー」を開催しました。

令和7年度は10月12日、11月23日、11月30日の3日間に勝尾寺園地で開催し、計27名の方にご参加いただきました。

当日は少し肌寒い日でしたが、普段出さないような大声でやまびこに挑戦してみたり、瞑想体験によって聴覚や嗅覚に意識を向けてみたり、ハーブティーやお弁当を青空の下で食べたりなどと、五感で森林を体感していただきました。

参加者からは「森林の力を感じることができた」「色々な季節での森も体験したい」などと感想をいただき、森林から五感に受けた、あふれるほどの刺激を楽しんでおられるようでした。



【写真 32 やまびこに挑戦する様子】



【写真 33 瞑想で森林を全身に感じる様子】



【写真 34 講師手作りのハーブティーの試飲】

(2) その他

① 草木染めイベント

箕面国有林に植栽したエドヒガンを良好に生育させるため、保育作業で林内に放置する枝を利用した「サクライロをつくろう ～草木染め体験～」を令和8年1月25日に開催しました。

講師には、兵庫県川西市で活動されている三木氏をお迎えし、公募により申し込みのあった17名の方々に参加いただきました。木綿のハンカチや小袋に、ビー玉や輪ゴムなどを使って模様をつけた後、エドヒガンの枝を煮だした染食液に作品を浸して染めます。作業開始から2時間がたち、エドヒガンのきれいなピンク色に染まった参加者の思い思いの創作作品が出来上がり、感動と充実した時間を過ごしました。

また、親子での参加者も多くあり、子供たちも大人に負けず一生懸命に作品作りをする姿や木綿に染まる作品に驚く姿は印象的でした。



【写真 35 講師からのアドバイス】



【写真 36 親子で作品完成】



【写真 37 染め上がりを見つめる参加者】

## 2 冊子活用状況

### 冊子一覧



教科書にのっている！植物図鑑



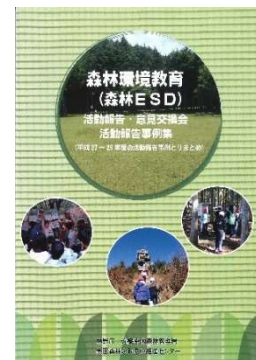
百人一首コース



森林環境教育手引書〈小学校編〉



森林環境教育推奨事例集



活動報告事例集



『雨水のぼうけん』絵本版



『もくざいのヒミツ』絵本版

### Ⅲ 森林・林業・木材利用に関する広報・普及活動

#### 冊子の配布状況

配布月	府県	配布先	配布物
令和3年 4月	奈良県	近畿大学	手引書・森林環境教育推奨事例集・森林ESD活動報告事例集各10冊
令和3年 7月	全国	各関係機関 図書館等	『雨水のぼうけん』絵本版 200冊追加印刷 うち100冊配布
令和4年 1月	全国	各関係機関 図書館等	『もくざいのヒミツ』絵本版 200冊印刷
令和4年 3月	全国	管内2府12県 市町村の教育 委員会 各関係機関等	新版・森林環境教育手引書 2,000冊印刷 うち1,100冊配布
令和5年 9月	全国	各関係機関	手引書 1,000冊増刷、新たに1,300冊配布 『もくざいのヒミツ』100冊、『雨水のぼうけん』90冊
令和6年 3月	全国	各関係機関	『環境教育手引書』 24冊配布 『雨水のぼうけん』絵本版 51冊配布 『もくざいのヒミツ』絵本版 46冊配布
令和7年 3月	全国	各関係機関	『環境教育手引書』 225冊配布 『雨水のぼうけん』絵本版 150冊配布 『もくざいのヒミツ』絵本版 55冊配布
令和8年 3月	全国	各関係機関等	『環境教育手引書』 136冊配布 『雨水のぼうけん』絵本版 121冊配布 『もくざいのヒミツ』絵本版 123冊配布 『森林環境教育推奨事例集』 5冊配布



### 3 情報発信

#### (1) ホームページの整備

箕面森林ふれあい推進センターのホームページを皆さんに親しんでいただけるよう、下記のコンテンツを追加しました。

- ・今週の一枚

職員が撮影した、箕面国有林の様子などを約1週間ごとに更新しています。

- ・フォトギャラリー

箕面国有林の動物や植物などの写真を紹介しています。

- ・森の工房

森林で収集できる材料を使った工作を紹介しています。

#### (2) こだま通信

NO.130～NO.134 を発行し、箕面森林ふれあい推進センターの取組状況について情報発信を行いました。



【図 17 今週の一枚の例】

## こだま通信 No.130

**こだま通信**  
Kodama Communication R7.8 No.130

林野庁 近畿中国森林管理局  
箕面森林ふれあい推進センター

『リースづくり』『つまようじづくり』に挑戦!!  
～「みのおの山とあそぼう!」に出展～

令和7年4月29日(祝・火)みのおキューズモール(箕面市)において、みのお山麓保全委員会主催の「ふれあい広場 みのおの山とあそぼうinキューズモール」が開催され、当センターもブース出展と紙芝居を上演しました。

イベント当日は、少し肌寒い風が吹きましたが晴天となり、ブースには約70名の方々に来ていただきました。当センターのブースでは、箕面の森林をより身近に感じる取組として、『つまようじのリースづくり』と『クロモジのつまようじづくり』の体験を行いました。『つまようじのリースづくり』は、つまようじのリースに色付けしてある木の実やリボンで飾りつける体験です。親子連れでの参加が多く、協力しながらの作業で、準備した約25個のリースがなくなる盛況ぶりでした。『クロモジのつまようじづくり』は、小さく切ったクロモジをやすりで削ってつまようじを完成させる体験です。こちらは子どもたちの参加が多く、時間をかけて真剣に集中する姿が印象的でした。また、クロモジは樹脂などに揮発性の香りをもつため、削ったときに「レモンみたいなにおいがある!」「いい香り～」と様々な反応があり、樹木の面白さを知ってもらうよい機会となりました。

『つまようじのリースづくり』を体験

『クロモジのつまようじづくり』を体験

モール内のふれあいステージ上においては、職員が作成した創作紙芝居「雨水のぼうけん」と「もくざいのヒミツ」を2回上演し、子どもたちや紙芝居を懐かしむ方々の注目を集め、多くの市民に森林と水の関わりや木材の良さなどを伝えることができました。

今後も引き続きイベントなどへの参画を通じて、より多くの皆様に森林の大切さを知っていただける取組を進めて参ります。

ブースの様子

創作紙芝居「雨水のぼうけん」

こだま通信 No.130 page1

**近畿大学生の国有林視察**

6月26日(木)近畿大学農学部(学生20名と教授2名)が箕面国有林を視察しました。

当日は、「エクスポ'90みのお記念の森」で予定していたところ、あいにくの雨天のため、勝尾寺園地周辺に場所を変更して行いました。

**ニホンジカ防止対策の実習**

箕面国有林で捕獲事業に従事している大阪府猟友会箕面支部中垣氏を講師に迎え、ニホンジカによる被害を防止するためのくくりワナの設置体験などを行いました。最初に中垣氏から山に入るうえでの服装の注意点や安全対策などを、自分の服装と対比させながら指摘を行い、あわせて持ち歩く道具類の説明などを行いました。その後、いくつかのグループに分かれて、実際にワナの設置を体験しました。学生の中には、自分の靴をニホンジカの足に見立てて、ワイヤーの締め具合の体験もしていました。ほとんどの学生が、初めて見るものや体験することだったようで、ワナの設置中にも多くの質問が寄せられ、興味や感心が高いことが伺えました。

**「OWL」による立木調査の講習**

次に、地上型3Dレーザースキャナ(OWL)を体験してもらいました。はじめに、OWLの使い方や計測で得られる情報を説明し、つづいて、スギ林に移動して職員とともに実際に立木調査を体験しました。最後に、パソコンによる立木の位置情報、本数・材積及びカメラによる画像を確認し、間伐木を測定することで変化する伐採率や間伐後に想定される林内状況を検証しました。学生からは、パソコン上に表示される一本ごとの立木情報や見学する自分たちが写し出された画面に歓声があがりました。

**卒業生との意見交換**

今回の視察では、学生時代に参加した近大OB職員3名も学生達と意見交換をしました。職員から、就職先をなぜ林野庁としたのか、今までの勤務先や業務内容、良かったことなどをそれぞれの経験から説明すると、年齢の近い先輩であることもあり、転勤の頻度など多岐にわたる質問がとびかき、活発な意見交換となりました。短い視察となりましたが、今回の視察において林業の仕事や林野庁の業務を伝えられたことは大変ありがたく、多くの学生に興味を持っていただきた感じがしました。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
TEL: 050-3160-6745/FAX: 06-6881-2055  
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目9-75 近畿中国森林管理局 2F  
URL: [http://www.rinyu.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinyu.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)  
E-mail: [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No.130 page2



こだま通信 No.133

## こだま通信

Kodama Communication R8.1 No.133

林野庁 近畿中国森林管理局  
箕面森林ふれあい推進センター

### 木工教室『松ぼっくりでツリーづくり』を体験！ ～「山とみどりのフェスティバル」に出展～

11月3日(祝)、明治の森箕面固定公園内の瀬安寺(りゅうあんじ)前広場において、「山とみどりのフェスティバル」が開催され、絶好の行楽日和に阪急箕面駅から箕面大橋に向かう道道も多数の観光客で賑わい、親子づれや訪日の外国人などが会場に立ち寄りました。

当センターからは職員4名が参加し、森林と親しんでもらう取組として「松ぼっくりでツリーづくり」や「松ぼっくりのご入れ」を行い来場者に楽しんでもらいました。「松ぼっくりのツリーづくり」では、幼稚園の子供から大人まで一生懸命アイデアを出しながら、色付けた木の葉やカラフルなリボンを使い思い思いに張り付け、用意した30個は早々に無くなる大盛況でした。「松ぼっくりのつるかご入れ」では、職員手作りがかごが景品としてもらえるため、投げた子供も見る親も投げた喜びに歓声を上げて楽しんでいました。

また、会場に設置されたふれあいステージでは、職員が作った創作紙芝居「雨水のぼけけん」と「もくぎのセミア」をあわせて3回上演し、たくさんの観客が同前で視聴していました。特に小さな子供たちが真剣に聞く印象的でした。

こだま通信 No.133 page1

## 森の中でリラックス in みのお森のセラピー

11月30日(日)、箕面国有林の勝尾寺園地において「みのお森のセラピー」を実施しました。

当日は、気温は低かったものの天候に恵まれ、歩いていると紅葉もまだ見ることができました。この絶好の行楽日和に、参加者7名に「みのお森のセラピー」を体験していただきました。

最初に、ドイツウに抱きついて自己紹介を行いました。参加者の皆さんは木の香りで癒されたようでした。次に、イチヨウヤスギの木の前で腹式呼吸を行いました。腹式呼吸で深い呼吸をすると副交感神経が優位になり、リラックスすることができました。その後、小川の冷たい水の中へ足を浸け、拭かずには水を履きます。すると不思議なことに、すごく冷たかった足がホカホカと温かい感覚になりました。これは、水などの自然の力を利用して心身の健康を促進するクナイブ療法の一つだそうです。参加者の皆さんは「冷たくなかった!」「すごい!」と驚かされていました。その後、森の中で瞑想をしたり、ハンモックに揺られたり、体と心を開放しました。

午後からは、スギ・ヒノキなどの身近にある植物や、レモンユーカリやセージなど自然農法で作られたハーブ類を材料としてスワッグづくりを行いました。講師お手製のハーブティを堪能しながら、皆さん思い思いのスワッグを作って持ち帰られました。

参加者の皆さんからは「昔、森で遊んだことを思い出した。」「いつもはせかせかしているのに、すごくリラックスできた。」「などの感想をいただき、「みのお森のセラピー」を楽しんでいただくことができました。私たちも、改めて森の癒しの方の偉大さを感じた一日となりました。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
TEL: 06-3160-6745/FAX: 06-6881-2055  
〒530-0042 大阪府北区天満橋一丁目9-7-5 近畿中国森林管理局 2F  
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\_fc/  
E-mail: ko\_fureai@maff.go.jp

このセンターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No.133 page2

こだま通信 No.134

## こだま通信

Kodama Communication R8.3 No.134

林野庁 近畿中国森林管理局  
箕面森林ふれあい推進センター

### 出前授業を行いました!! ～雲雀丘学園小学校～

12月4日(水)兵庫県東播磨市の雲雀丘学園小学校5年生143名に出前授業を行いました。

1 時間11の15分間は、5年生全員に「国有林について」、「林業ってなに?」の講義を行い、3時間11から6時間11まではクヌギごとに丸太切りの体験とスギ・ヒノキの幹や木節の観察方法を学習しました。

1 時間11の質疑では、学校で習っていることもあり「山の木を1人にどれくらい投げるのが」、「伐採に使用するチェーンの首掛けは?」などに加え、「立木を伐採するときに両側ともに切るのはなぜか」との専門的な質問に、説明した職員もびっくりしました。

3 時間11からの丸太切りでは、学校で準備した丸太切りの台7台所に120本の丸太をセットし、匠首には切り役・押え役をそれぞれ体験してもらい、丸太切りの途中では、「腕がだるい」などの疲労を聞く児童もいましたが、全員が自分の方で切ることができました。

最後は、買ったヒノキの匂いを嗅ぎ「良いにおいがする!」、「家に持って帰る」などの感想があり、大変うれしく思いました。本日の出前授業では、林業の話や体験を通して人と森林や木との関わりを伝えられたことに加え、たくさんの質問や一言懸命に話を聞く姿が印象的でした。

このセンターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No.134 page1

## 植樹編と カブトムシ里親まつりを開催しました

冬の気配を感じる初冬の令和7年12月14日(日)、箕面国有林 エキスポ'90みのお記念の森1において、「カブトムシ里親まつり(植樹編)」に2家族7名の方に参加いただき開催しました。今回は、クヌギの苗木を植える際に、日本森林ボランティア協会の皆さまに植栽へを植える穴掘りや植栽確認のお手伝いをいただきました。

初めに、NPOワガタ探検隊の鳥さくらから創作歌「鳥 エジロくんの旅日記」をよみ、「命の歌」今日の大切さを学びました。

その後、クヌギの植樹場所に移動し、日本森林ボランティア協会の松村さんから植栽時に「枝やおち葉をいれない」、「苗木土が密着するようにする」との指導を受け、2m余りの大きな苗木6本を親子で1等に植え上や土を敷き詰めて植栽しました。林内で作業する参加者は、土表を前を小さな根が覆い、簡単に倒れないことで土砂が安定していることや苗木の根が張ることによって土の動きを止めていることを実感していました。

親子で声にながら植えたクヌギがすくすくと育ち、多くの生き物の交点となることを期待してイベントを終えました。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
TEL: 06-3160-6745  
〒530-0042 大阪府北区天満橋一丁目9-7-5 近畿中国森林管理局 2F  
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\_fc/  
E-mail: ko\_fureai@maff.go.jp

このセンターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No.134 page2

(3) 近畿中国森林管理局広報誌「森のひろば」

No.1195、No.1199 に箕面森林ふれあい推進センターの情報が掲載されました。

森のひろば No.1195 令和7年10月号

エキスポ'90 みのお記念の森で体験できる森林環境教育プログラム「森の探検隊」について特集されました。

NO.1195

**トピックス**

**森林環境教育プログラム「森の探検隊」と学習ルートの整備**

【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面森林ふれあい推進センターの活動フィールドである箕面国有林は、「明治の森自然休養林」、「明治の森箕面国定公園」に指定されていることもあり、国有林を含めた地域全体にハイキング道が整備されています。大阪市内から1時間程度で行くことができる手軽さもあり、自然との関わりや癒しを求める多くの市民に利用されています。

こうした中、当センターでは、箕面国有林の「エキスポ'90記念の森」を森林環境教育のフィールドとしています。森林内での体験学習を通じて、人々の日頃の生活と環境と森林の関係についての理解と関心を深め、考える「森の探検隊」、小中学校の教科書に掲載されている植物を実際に見て知識を深める「教科書に載っている植物コース」を整備しています。

また、小学校で習う百人一首に出てくる植物を見て、説明看板で知識を高める「百人一首コース」の整備も進めています。

ススキ

教科書に載っている！  
**植物図鑑**

2

NO.1195

「森の探検隊」は、森の中にある指令書を探検マップで探し出し、書かれている問いかけに対してみんなで考えを出し合い、記録・探検することで五感で森林を楽しむことを目的とする小学生対象の森林環境教育プログラムです。さらに、学校に帰った後も、指令書の内容や撮影した写真を自分たちで考えながら調べることで、より理解を深めることができます。

現地での実施方法について説明します。

- ① 班編成：一班5～6人程度で協力をしながら行動する。
- ② 班の役割分担：リーダー（1名）、記録係（1名）、カメラ係（2名）、探検係（1名）などそれぞれの役割分担をする。
- ③ 探検する選定：エキスポの森内に探検ポイント（指令書）23箇所の中から「森の探検隊 探検MAP」で探検ポイントを決める。

これで準備万端、指令書を探しに出発できます。

令和6年度は、令和6年11月21日（木）に豊能町立東能勢小学校5年生16名がチャレンジしました。児童は2班8名ごとに分かれ、班ごとに役割分担を決めるとともに、各班に職員が加わり「指令書」にある森林にまつわる謎にヒントを出しながら解いていきました。吸収力が高く、好奇心旺盛な児童たちは、道端にある草木への質問や疑問を職員に投げかけ、一緒に楽しむことが出来ました。児童からは、「もっというんなどところに行きたかった」「違う探検ポイントにも行ってみたい」「たくさん探検をしたい」など、嬉しい感想をいただきました。

箕面森林ふれあい推進センターでは、多くの来園者楽しく森林の知識を深めていただく取組をしております。

これから紅葉の始まる箕面の森で、小鳥のさえずりを聞きながら森林散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

3

森のひろば No.1199 令和8年2月号

当センターが森林環境教育プログラムの説明を行った国有林モニター会議と、当センター主催の草木染めイベントについて特集されました。

トピックス

令和7年度国有林モニター会議等について

【企画調整課】

近畿中国森林管理局では、開かれた「国民の森林」としての国有林の管理経営や国民視点に立った行政をより一層推進していくため、情報の受発信による対話型の取組を進めています。

その取組の一環として、国有林の事業運営等について国民の皆さまに理解を深めていただくとともに、ご意見やご要望をお伺いして国有林野行政に反映させる取組を実施しています。

国有林モニターの方々を国有林に案内し、意見等を直接伺う「国有林モニター会議」を令和7年11月21日（金）に箕面国有林（大阪府箕面市）で開催し、8名の国有林モニターの方に「日本美しの森 お薦め国有林」のひとつ、「明治の森箕面自然休養林」の見学と、森林環境教育の取組を視察いただき、意見交換を実施しました。



明治の森箕面自然休養林  
見学の様子

はじめに、勝尾寺の東に位置する箕面国有林「勝尾寺園地」を散策した後、「エキスポ'90みのお記念の森」へ移動し、園内を見学しました。また、箕面森林ふれあい推進センターの職員が、小学校の教科書に出てくる馴染みのある植物を確認しながら知識を深める「教科書にのっている植物MAP」や一班5～6人程度で設問ポイントを探しながら、自然環境や歴史・文化などを学ぶ「森の探検隊」などの森林教育プログラムを紹介しました。



森林環境教育の取組説明 見学の様子

参加者からは、「平日にもかかわらず国有林への入林者が多い」との驚きの声や、「国有林における市民の触れ合いの場所がどのようにしているのか良く分からなかったが、見学により理解できた」等の声がありました。

意見交換会では、見学した内容に対する感想や国有林野事業への意見・要望を多数いただきました。

これらの意見・要望は、今後の国有林野の管理経営に反映させるよう努めてまいります。



意見交換会の様子

また、年に1回、「国有林モニターアンケート」を実施し、国有林に対するイメージや御意見・御要望、期待されている取組等の把握に努めています。

「草木染めイベント」を開催しました。

【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面森林ふれあい推進センターでは、令和8年1月25日（日）、桜ノ宮合同庁舎1階「こもれび」において、「サクライロをつくろう ～草木染め体験～」を開催しました。



染色作業の様子

草木染めの材料は、箕面国有林に植栽したエドヒガンです。良好に生育させるために間引いて、本来は林内に放置される枝を、染色材料として利用しました。

講師には、兵庫県川西市で活動されています三木氏をお迎えして、17名の参加者にお集まりいただきました。まず、木綿のハンカチと小袋に、出来上がりの模様を想像しながら、ビー玉や輪ゴムなどを使って模様をつけます。その後、エドヒガンを煮だした染色液に、それぞれの作品を染み込ませていきます。講師から、「同じ材料を使っても、生きものなので二度と同じ色にはならない」「スギの若い枝葉も、エドヒガンに負けないくらいピンク色に染まる」「草木染めの色は、派手さはないものの清楚な色合いとなる」などのお話を聞きながら、染色作業を行いました。



出来上がった作品

作業開始から2時間、作品を作り終えた参加者からは、エドヒガンのピンク色としっかりと模様が表示された作品に驚きと感動の声が上がりました。また、参加された子供たちが、大人に負けず一所懸命に作品づくりをしていた姿をほほえましく感じました。

(4) 機関誌・情報誌「森林レクリエーション」への寄稿

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会の機関誌・情報誌「森林レクリエーション 2025年7月号」への寄稿を行いました。

(1ページ目のみ参考に掲載)

特集

## 森林で遊び、森林に学ぶ —箕面森林ふれあい推進センターの取組—

近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センター

### 箕面森林ふれあい推進センターについて

箕面森林ふれあい推進センターは林野庁の地方機関である近畿中国森林管理局に所属しております。現在、当センターではフィールドとして明治の森箕面自然休養林を中心に、箕面地域で活動しているボランティア団体等と協定を結び、国有林を活用した森林イベントを共催したり、他の団体が主催するイベントでのブース出展を通じて、森林環境教育活動を行っています。

また、自然再生の取り組みとして、「オオクワガタの棲める森づくり」活動や、シカ等の有害鳥獣捕獲事業を行っています。「オオクワガタの棲める森づくり」活動では、箕面自然休養林内にある「エキスポ90みのお記念の森」において、平成20年度からヒノキ、スギ林を伐採して、クスギ、コナラなどの落葉広葉樹を植栽し、樹種転換を図ってきました。この取組は住民参加型として、ボランティアの方々から協力をいただき、苗木の育成→植栽→下刈りなどの一貫した取組を行っています。現在はスギ・ヒノキ林から落葉広葉樹林への樹種転換が完了し、オオクワガタが利用する「台場クスギ（萌芽更新を繰り返すことにより台のような樹形になったクスギのこと）」の作成に取り組んでいるところです。

シカ等の有害鳥獣捕獲事業については、箕面市の猟師の方々と連携して、増えすぎてしまったニホンジカの捕獲を行いつつ、箕面自然休養林の植生をモニタリングすることで、ニホンジカによる森林植生の被害状況について確認を行っています。

他にも、学校教材、森林環境教育教材として、無料でご利用いただける冊子の発行



オオクワガタの棲める森づくりパンフレット

等も行っています。例として、木材の良いところについて、物語を通して楽しく学ぶことができる、創作絵本「もくざいのヒミツ」や、森林が雨水を貯え、きれいな水を育む仕組みを学ぶことができる創作絵本「雨水のぼうけん」に加え、森林環境教育に取り組む先生方が対象の、授業やフィールドで簡単にできるプログラムを盛り込んだ手引書「森林環境教育手引書〈小学校編〉」



創作紙芝居「雨水のぼうけん」  
作/絵 矢放 七海

## 1 運営推進懇談会（箕面森林ふれあい推進センター）

### （1）趣旨

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林づくり活動や自然再生活動を行っているNPO団体等及び森林環境教育を推進している教育関係者等の要望を的確に反映した取組等を行うため、当センターの運営に関して、学識経験者、森林ボランティア活動を行っている者及びマスコミ関係者をメンバーとする懇談会を設置し、懇談会等からの意見及び要望等を反映させた対話型の取組、効果的かつ効率的な運営を推進しています。

### （2）検討事項

- ア ボランティアによる森林整備活動に関すること
- イ 自然再生に関すること
- ウ 森林環境教育支援活動に関すること
- エ 情報の発信に関すること

### （3）懇談会委員

- ・三 角 真 理（毎日新聞社 社会部）
- ・久 山 慶 子（フィールドソサイエティ 事務局長）
- ・山 下 宏 文（京都教育大学 名誉教授）
- ・幸 田 良 介（大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 主任研究員）

### （4）令和7年度運営推進懇談会実施概要

第1回運営推進懇談会を、9月11日、近畿中国森林管理局（桜ノ宮合同庁舎）において開催しました。

懇談会では、令和6年度事業実施状況及び評価、令和7年度活動予定について、所長から説明を行い、各委員との質疑応答を行いました。

専門家委員からは、当センターの取り組みについて「近隣の町で目撃情報があったかと思うが、箕面国有林に熊はいないのか」「シカ捕獲頭数が伸び悩んでいる原因は」などのご意見のほか、「子どもたちに森に手を加える必要性を伝えることを大事にしてほしい」「森林ボランティア協会を対象に開催している植生学習会について、映像などをHPに載せられないか」のなどのご助言をいただきました。

専門家委員からいただいたこれらのご意見やご助言を踏まえ、実施可能なものから取り組むこととしています。

## 2 取組一覧・連携一覧

### (1) 森林環境教育関係

各種事業を通じて、森林環境教育等の普及・技術提供・情報発信に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
令和7年 6月4日	第1回「箕面体験学習の森」育成・活用事業検討委員会	検討委員会 委員	箕面国有林外
令和7年 6月26日	近畿大学生国有林視察案内	大学生等	箕面国有林
令和7年 9月11日	箕面森林ふれあい推進センター 運営推進懇談会	懇談会委員	近畿中国 森林管理局
令和7年 10月19日	カブトムシ里親まつり（放虫編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれ あい推進事業）	一般応募	箕面国有林
令和7年 10月30日	出前授業（YMCA 学院高等学校）	高校生	大阪市内
令和7年 11月2日	近畿大学中高大連携 森林学習プロジェクト	大学生等	箕面国有林
令和7年 12月4日	出前授業（雲雀丘学園小学校）	5年生	宝塚市内
令和7年 12月14日	カブトムシ里親まつり（植樹編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれ あい推進事業）	一般応募	箕面国有林
令和8年 2月9日	第2回「箕面体験学習の森」育成・活用事業検討委員会	検討委員会 委員	箕面市内

## (2) シカ被害対策関係

シカ被害対策を通じて、自然再生及び多様な生態系の維持に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
令和7年 4月24日	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
令和7年 9月1日	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
令和7年 12月9日	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
令和8年 2月19日	箕面国有林ニホンジカ被害防 止対策情報交換会	大阪府猟友会、大阪府猟 友会箕面支部、明治の森 箕面自然休養林管理運営 協議会（大阪府、箕面市、 森林ボランティア団体 外）	箕面市立 市民会館

## (3) 地域等との協働

地域・NPO団体等との連携を大切にして活動しています。

年月日	内 容	参加者	場 所
令和7年 4月17日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第111回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会(大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外)	箕面市立 市民会館
令和7年 4月29日	山とみどりのフェスティバル	みのお山麓保全委員会	みのおキュー ズモール
令和7年 5月15日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 令和7年度(2025年度)総会	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会(大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外)	箕面市立 市民会館
令和7年 5月15日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第112回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会(大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外)	箕面市立 市民会館
令和7年 6月2日	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 (幹事会)	大阪府北部農と緑の総 合事務所、大阪府池田土 木事務所、箕面市外	箕面市立 市民会館
令和7年 6月30日	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 (総会)	大阪府北部農と緑の総 合事務所、大阪府池田土 木事務所、箕面市外	箕面市立 市民会館
令和7年 7月17日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第113回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会(大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外)	箕面市立 市民会館
令和7年 9月18日	明治の森箕面自然休養林管理 運営協議会 (第114回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会(大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外)	箕面市立 市民会館

年月日	内 容	参加者	場 所
令和7年 9月30日	ウシガエル捕獲大作戦	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外）、一般応募	箕面国有林
令和7年 10月16日	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（第115回例会）	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外）	箕面市立市民会館
令和7年 10月20日	明治の森箕面国定公園マナーアップ推進パトロール	大阪府北部農と緑の総合事務所、大阪府池田土木事務所、箕面市外	箕面国有林外
令和7年 11月3日	山とみどりのフェスティバル	みのお山麓保全委員会	龍安寺前広場
令和7年 12月13日	第22回箕面の山大掃除大作戦	箕面の山パトロール隊、箕面市不法投棄防止対策連絡会、明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会外	明治の森箕面国定公園
令和7年 12月18日	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（第116回例会）	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外）	箕面市立市民会館
令和8年 1月11日	植生学習会	森林ボランティア団体	箕面国有林
令和8年 1月25日	草木染めイベント	一般応募	近畿中国森林管理局
令和8年 2月19日	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（第117回例会）	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外）	箕面市立市民会館



令和7年度 職員名簿

令和8年3月31日現在

上席自然再生指導官（所長）	藤原 正一
業務推進官（自然再生担当）	長瀬 温子
係員（森林環境教育担当）	辻 周子 【令和8年4月1日 転出】
係員（森林ボランティア担当）	吉田 周平 【令和8年4月1日 転出】





林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号 近畿中国森林管理局内  
電話：050-3160-6745 E-mail kc\_fureai@maff.go.jp  
ホームページ [http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)



この「年報」は上記アドレスに掲載していますので、ご覧下さい。